



令和2年2月期 第2四半期 決算説明資料

岡谷鋼機株式会社

令和元年10月2日

1. 連結経営成績
2. 連結財政状態
3. 連結業績予想
4. 配当予想
5. 設備投資
6. 株主優待
7. トピックス

1. 連結経営成績

単位：億円

	平31/2期 第2四半期	令2/2期 第2四半期	前期比増減 (増減率)
売上高	4,575	4,441	△133 (△2.9%)
売上総利益	309	305	△4 (△1.3%)
販売費及び一般管理費	209	210	+1 (+0.6%)
営業利益	100	95	△5 (△5.2%)
経常利益	122	120	△1 (△0.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	82	85	+2 (+3.3%)
一株当たり 当期純利益	858.58円	886.62円	+28.04円
四半期末人員	5,114名	5,131名	+17名

連結子会社数：70社 持分法適用会社数：14社

売上高は3期ぶりに減収。産業資材事業が堅調に推移したものの、鉄鋼事業が輸出を中心に伸び悩んだ。それに伴い、利益も前年同期を下回る結果となったが、一部子会社の持分譲渡により税金費用が減少したため、純利益は増益。

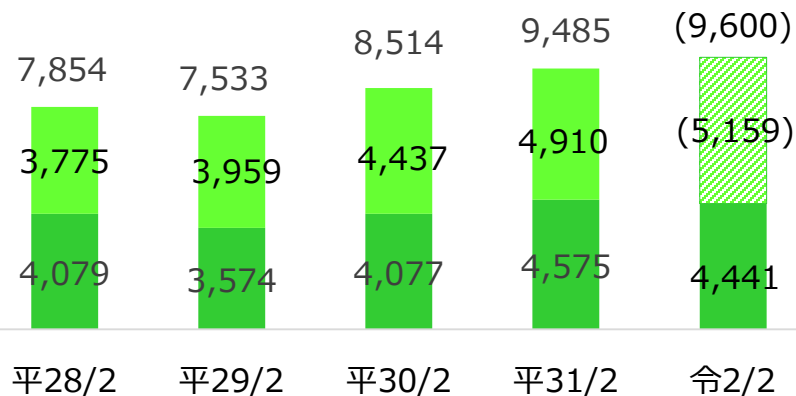
1. 連結経営成績 <推移>

() は予想値

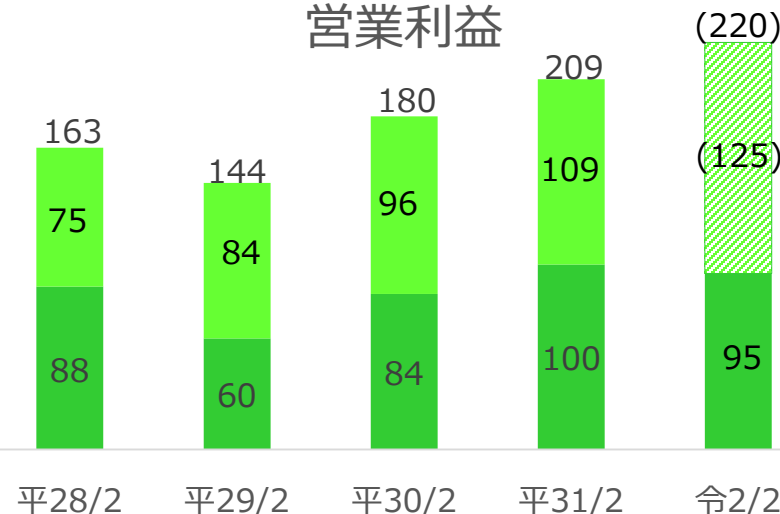
■ 上期 ■ 下期

単位：億円

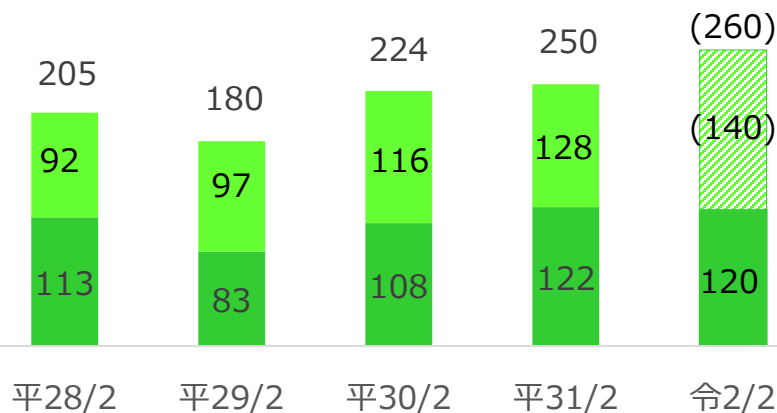
売上高



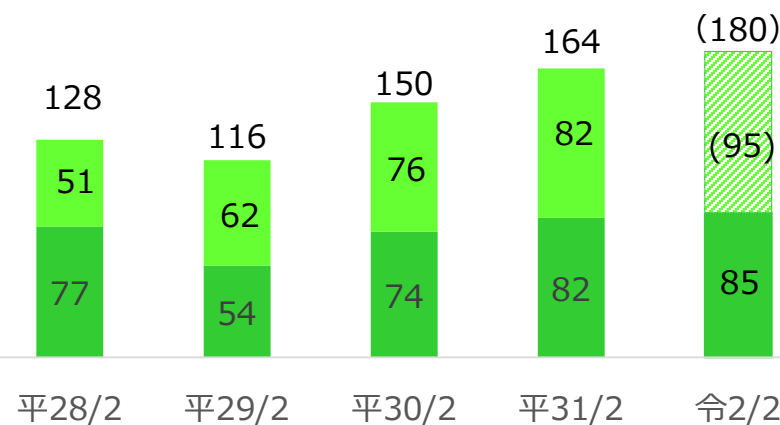
営業利益



経常利益



当期純利益

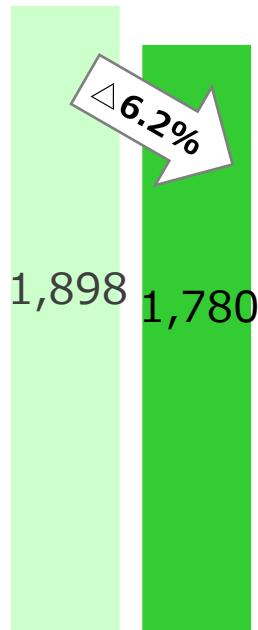


1. 連結経営成績<セグメント別売上高>

単位：億円

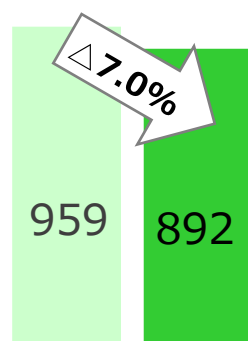
鉄鋼

△118



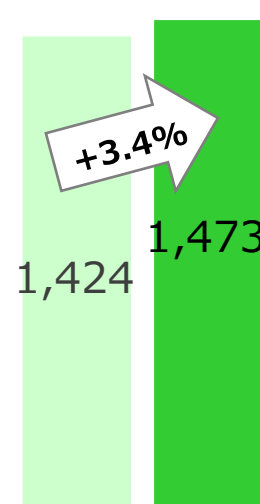
情報・電機

△67



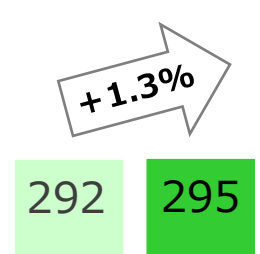
産業資材

+48



生活産業

+3



■ 平31/2期 第2四半期

■ 令2/2期 第2四半期

国内での建材分野および製造業向けの伸び悩みに加え、輸出が減少。

自動車関連は底堅く推移したが、FA関連および中国エアコンメーカー等が減少。

自動車関連や航空機向け等の増加に加え、省人化・自動化設備が順調。

配管資材類や建築請負工事の増加に加え、食品では水産物の輸入が増加。

1. 連結経営成績<セグメント別営業利益>

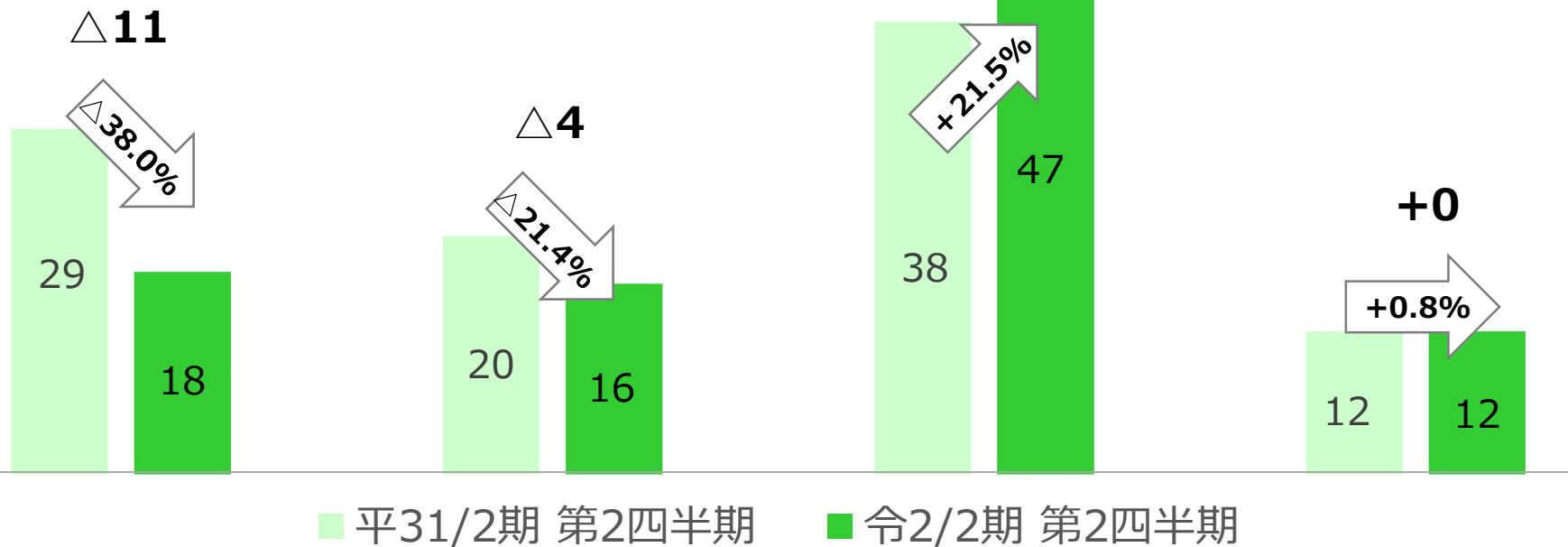
単位：億円

鉄鋼

情報・電機

産業資材

生活産業



■ 平31/2期 第2四半期

■ 令2/2期 第2四半期

2. 連結財政状態

単位：億円

	平31/2期	令2/2期 第2四半期	前期比増減
総 資 産	5,190	5,040	△149
(流 動 資 産)	3,287	3,225	△61
(有 形 固 定 資 産)	381	378	△2
(投 資 有 価 証 券)	1,278	1,190	△87
(その他の固定資産)	243	245	+1
負 債	3,044	2,897	△146
(流 動 負 債)	2,531	2,383	△148
(固 定 負 債)	512	514	+1
純 資 産	2,145	2,142	△3
自 己 資 本 比 率	39.5%	40.6%	+1.1%
有 利 子 負 債	1,236	1,028	△208

※会計基準変更に伴い、平31/2期の財政状態を一部遡及修正しております。

総資産は、売上債権や投資有価証券などが減少。有価証券の減少は株式の時価下落に伴うもの。
負債は、仕入債務が増加する一方、主に借入金が増加。

3. 連結業績予想

単位：億円

	平31/2期 実績	令2/2期 予想	前期比増減	
			増減	増減率
売上高	9,485	9,600	+114	+1.2%
鉄鋼	3,915	3,840	△75	△1.9%
情報・電機	1,944	2,010	+65	+3.4%
産業資材	3,009	3,120	+110	+3.7%
生活産業	616	630	+13	+2.1%
営業利益	209	220	+10	+4.9%
経常利益	250	260	+9	+4.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	164	180	+15	+9.1%

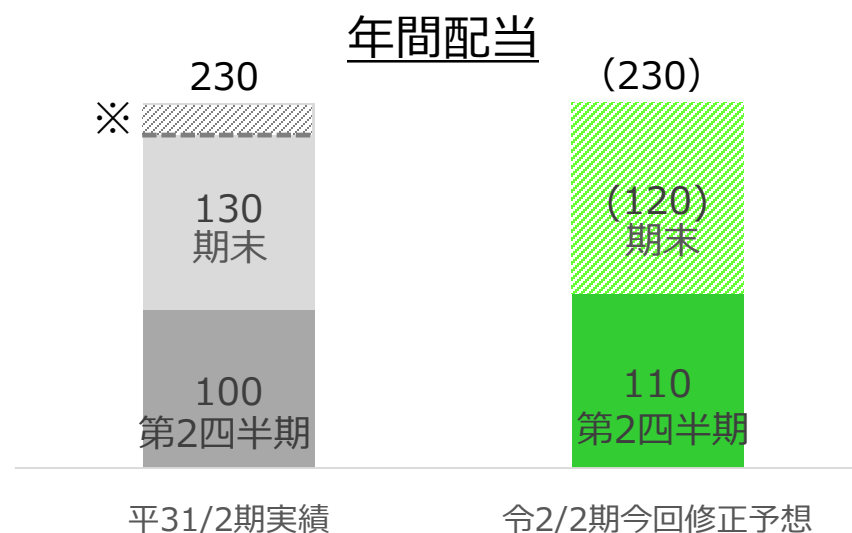
世界経済に先行き不透明感が強まるなど、経済環境に変化が見られるものの、当期の業績は概ね計画通りに推移する予想であり、予想数値は3月公表数値を据え置き。

4. 配当予想

単位：円

	平31/2期	令2/2期	
	実績	前回予想 (平31.3.29公表)	今回修正予想
第 2 四 半 期	100	110	110
期 末	※ 130	(110)	(120)
年 間 配 当	230	(220)	(230)
配当性向(連結)	13.4%	(11.8%)	(12.3%)

※創業350周年記念配当20円を含みます。



()は予想値

5. 設備投資

単位：百万円

	令2/2期 第2四半期実績	令2/2期 予定
設備投資額	1,957	6,100
(主な内容)	(主な内容)	(主な内容)
物流倉庫 増改築等	75	物流倉庫 増改築等 670
賃貸用資産 設備	123	賃貸用資産 設備 940
事務所 設備	20	事務所 設備 200
工場設備 (海外)	416	工場設備 (海外) 1,050
工場設備 (国内)	294	工場設備 (国内) 960
樹脂成型用金型	115	樹脂成型用金型 400
システム関連	397	システム関連 1,170
車両運搬具	82	車両運搬具 120
その他	435	その他 590
減価償却費	1,803	3,700

下期には、名古屋市内に保有する中川倉庫の建て替えや、賃貸用資産の整備、国内外製造子会社の能力増強・省力化のための設備投資に加え、将来に向けてのシステム投資などを予定。期初予定どおりに投資実行予定。

6. 株主優待

一般株主向け優待

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
愛知県産米 山の幻ミネアサヒ 5Kg	200株以上	8月末	10月下旬
	100株以上	2月末	4月下旬

長期保有株主向け優待 (※)

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
図書カード1,000円相当	100株以上	8月末	10月下旬
図書カード2,000円相当	100株以上	2月末	4月下旬

※一般株主向け優待に加え、半期毎(8月末及び2月末)に発行される最終株主名簿に、同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件として贈呈します。発送は通常の株主優待とは別送となります。

7. トピックス

年月	内容
平 31年 2月	ミャンマーでの鉄骨図面作成会社設立
3～4月	第39回日本医学会総会2019中部への協賛
4月	学校法人名古屋国際学園への寄付
令 元年 5月	中国子会社の持分譲渡
6月	小学生サッカー大会冠協賛の開始
7月	インド岡谷鋼機 チェンナイ支店開設
8月	米国 International Mold Steel, Inc. 本社移転

ものづくりに貢献する感性豊かな
“グローバル最適調達パートナー”

岡谷鋼機株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する予測は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、実際の業績等は様々な要因により変更される可能性があります。当社は新しい情報、将来の出来事に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。